

防災委員からのメッセージ

城山公民館長 荒井道明



1.避難勧告には従いましょう 東日本大震災で教訓としたい悲劇があります。大地震直後、津波が来るまで2, 30分しかありません、消防や地域の役員が高齢者など一人暮らしの家を周り、至急の非難を呼びかけましたが、中には、自宅から逃げない、避難所は混雑し汚いと言って、拒否した人々です。関係者は、何軒も廻って避難させたいのに、その家人の説得に時間を費やします。私はどうなってもいい、ほかの家に行ってくれと言われても、その人を置き去りにするわけには行きません。そして家人は勿論、関係者も津波に呑みこまれ亡くなりました。本人だけでなく、沢山の殉職者、遺族を生むことになりました。地震後に今まで津波は無かったから、今度もないと思ったか、事件や災害は経験した範囲でしか起きないだろうと考えたか。災害避難への理解不足が他人の命をも道づれにした事案になったと思います。

2 断水に備える水の備蓄方法について 人は一日水を3ℓ必要とし、その備蓄はボトルで何本という話があります。当然ですがボトルはスーパーなどでお金を出して買います。でもそれが厄介なら、寝る前に「やかん」に水道水を貯め、翌朝それを沸かして飲めばいい。ポットにも水を貯え、いつも循環し使用する。生活習慣としてトライする価値はあると思います。ついでに風呂の残り湯。即日排水しなければいざという時、洗濯やトイレなど生活用水として使えます。せっかくの自分の「持ち物」、再利用がSDGsにもなります。

防災トピックス(1) 警察災害対策用レスキュー車来たる！ 二丁目副区長 増村悟樹



近年、夏から秋にかけて台風や線状降水帯の影響により、洪水、土砂崩れ、河川の氾濫と各地で過去、経験したことのないような大規模災害が発生しています。「今まで安全な地域だから心配することはない」という楽観的な考えは一切通用しなくなっています。

いつ、どこで発生するか分からない災害のリスクに対し、東日本大震災の発生以降は、自分の身は自分で守る「命を守る行動」が声高になっています。万が一、災害による危険が身に迫った場合に、どう危険を回避するための行動ができるか。それは平素から、災害対策のための知識を高め、「自助」を中心とした地域と連携した安全な行動をとることが必要です。本年の城山校区防災部会は、群馬県警察、高崎警察署に依頼して、次のとおり防災訓練を実施することになりました。是非、地域住民の方々の積極的な参加をお願いします。

- 日時・場所 10月29日(日) 午前10時から 於 城山公民館
- 講演 「災害時における自助活動」上武大学教授(警察庁技術アドバイザー) 加古 嘉信 氏
- 展示・実技 警察災害対策用レスキュー車による装備資機材の展示と実技
- 記念撮影 パトカー内の乗車とパトカー前で記念撮影を予定してます。子供さんの参加大歓迎。

防災トピックス(2) 城山校区ホームページ(城山校区で検索)の活用 二丁目 唐橋正夫



あなたは城山校区HP.を見ましたか？城山校区HP.の特長は、信頼できる区長や副区長などが自分のスマホから住民向け情報を城山校区HP.に掲載することです。このHP.の防災への活用法ですが、

1. 城山校区HP.で災害発生状況を[緊急連絡]や[注意喚起]に掲載しても住民はHP.が更新されたことがわかりません。そのため、このHP.ではHP.更新時通知を申込んだ人にメールで[緊急連絡]や[注意喚起]が掲載されたことをお知らせします。だからHP.更新時通知メールが届いた時に城山校区HP.を見れば良いのです。
2. 城山校区HP.の[緊急連絡],[注意喚起]は城山校区内の発生事実等を迅速に掲載します。このため、災害発生時にSNS等でありがちなフェイク情報に惑わされません。
3. あなたが災害発生時に正しい情報で行動できる様、HP.更新時通知の申込を推奨します。なお、HP.更新時通知申込の登録内容はメールを受信したいスマホやパソコンのメールアドレスのみです。氏名や電話番号等の個人情報の入力はありません。



「防災備品ご覧ください。備蓄の参考にして下さい。」

まずは水備蓄です。さらに
給水車に水を貰いに行くときに必要です



ポリタンク10リットル

長時間停電では、ライトに電池
カセットコンロ・・・大丈夫ですか



カセットボンベも
必要です

ご自宅の電池
何がどれほど
必要でしょうか

トイレが流せない！そんな
時簡易トイレは必須です



日常蓄えてる様々な食料
による備えが基本ですが、
展示品は補助備蓄食です。
保存期間を書き入れましょう

城山公民館、一丁目集会所、見晴台公民館に防
災備品展示コーナーを設けました。

展示品は防災備品の一例ですが、今後定期的に入れ替えをしていきます。併せて自助活動マニュアルを置いてあります。マニュアルは自由に持ち帰りいただけます。それをご家庭でお読みいただき「家庭の備え始めるよ！」をよろしくお願いいたします。

10月15日（日）午後1時から

一丁目集会所では、一丁目自主防災会主催で防災備蓄を主体とした防災イベントを行います。

（講話、防災備蓄品展示、非常食配布）

*非常食は賞味期限間近です

始めましょう防災備蓄！ 今回は生活水の備蓄です・・・「お風呂の残湯は、大切な備蓄水です」

第1号は、飲料水の備蓄の勧めでした。命に関わる為最優先ですね。皆さん、何らかの災害等で断水が起きうることをご承知と思います。備蓄水がなかったら、一日目はなんとか凌げたとして、2日目はどうしますか。3日目は耐えられませんよね。子供さん、お年寄り、基礎疾患がある方は特に耐えられません。

飲料水、生活水の備蓄は「家庭の備えとして必須」ではないでしょうか。

（1）普段どれほど使っていますか、4人家族の場合

・お風呂	約320リットル	40%
・トイレ	約160リットル	20%
・炊事	約150リットル	18%
・洗濯	約120リットル	15%
・洗面他	約50リットル	6%
・飲料	約10リットル	1%

普段不自由なく使っている水ですが、一日の使用量はどんなものでしょうか。家庭によって使用量の幅はありますが結構使っていますね。

断水が長引けば、生活水に支障が出てきます。

最低でも1人一日10リットルの生活水が必要です。

・・・ご家庭の備えは大丈夫でしょうか。

そこで前述のお風呂の残湯のお話です。残湯は大よそ200リットル程度だと思います。非常時には、大事な生活水になります。そういえば、簡単には排水はできません。いつ排水すればいいのでしょうか。

（2）断水になると、すぐに困ることになります

- ・生きていく為の水1人一日3リットル
- ・生活する為の水1人一日10リットル

断水が起きた場合を想定し、ご家庭の「生活水の確保」「水の管理」を考えてみましょう。

- （1）ご家庭の屋外設置湯沸かし器はどう利用しますか。タンクに溜まっている水を利用しましょう。外部への排水口がありますので、そこからポリタンクなどに移せます。一度やってみてください。屋外設置湯沸かし設備は、500リットル程度あるものがあります。
お風呂の残湯約200リットルも無駄にはできません。次のお湯を入れるまで出来るかぎり長く貯めておきましょう。その気持ちが、行動が防災備蓄に通じます。
- （2）ご家庭に、ポリタンクはありますか。飲料用とは別に、ポリタンクなどで水道水を保存しておく習慣をお願い致します。水はとにかく様々な生活場面で必要です。水は定期的に入れ替えましょう。
- （3）日頃は、水道水を基本に清潔な生活を維持しています。非常時には、飲める水、飲めない水の仕分け、水の量を最初に把握しましょう。ご家庭の人数に応じた水の使い方、一日の消費量取り決めなど、所謂「水の管理」が生活維持、清潔維持に必要になります。どなたが「水の管理者」でしょうか。

編集後記 関東大震災から100年経ちました。防災部会では「今、学ぶこと、備える事」のテーマで講演会を行いました。そこでも防災備品を展示し、どう備えれば良いのか皆さんで意見交換しました。災害は忘れたころにやってきます。この節目に明日は我が身と考え、家庭の備えに取り組みしましょう。（編集委員）